

白鷗大学営学部青崎ゼミナール ゲーム班

大学コンソーシアムとちぎ主催「第21回 学生&企業研究発表会」で
最優秀賞（知事賞）を受賞

【研究テーマ】

アクションRPGゲーム風PR動画による観光客誘致

【受賞】

最優秀賞（知事賞）

【研究内容】

栃木県の数多くいるご当地キャラにそれぞれ地域の特徴を含めた技を考え、敵と戦っていくというアクションRPGゲーム風のPR動画を作成することで今までには無いPR動画となり話題性やSNSによる拡散性を用いて栃木県観光のきっかけを作り来訪割合の少ない若者の観光客誘致に繋げる。

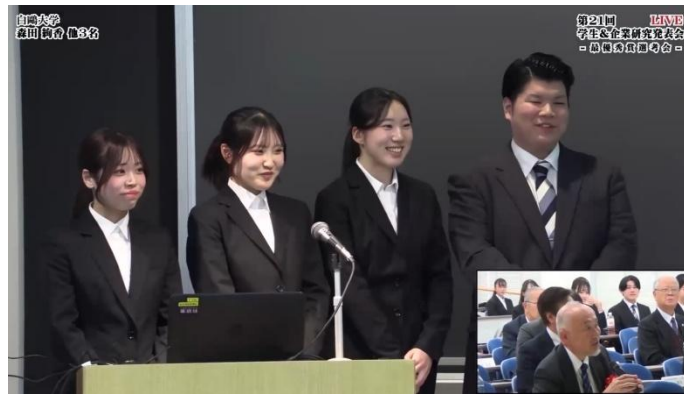


【ヒアリング先】

1	栃木県庁地域復興課地域づくり支援担当
2	宇治市役所秘書広報課
3	株式会社ジーアングル
4	株式会社キャラクター・データ
5	株式会社セガエックスディー

【動画作成にご協力いただいた方々】

1	栃木県庁地域復興課地域づくり支援担当様
2	佐野市役所広報ブランド課様
3	株式会社Nico planning様
4	岩下食品株式会社様



【メンバーコメント】

〈森田 絢香〉

グループ研究では、私たちのPR動画をどのようにすると楽しみながら見てもらい、栃木県をよりPRできるのかという点でとても悪戦苦闘しました。しかし、何度もミーティングを重ね、意見を交わしていくことで自分たちの納得いく動画を作ることができると共に多角的な視点で物事を見る力や、問題解決能力を身につけ、何よりも諦めないことの大切さを学ぶことができたと感じます。そして、出来上がった動画をヒアリングを通して栃木県外の方々に見ていただき、自分たちには無いアイデアや意見をいただくことができた東京フィールドワークは私たちの活動の転換点であり、新たな知見を得ることができる機会となりました。この約1年の活動を通して、学んだこと、経験したことは、私にとって宝物であり、これからの活動に活かし、社会で活躍できる人間になりたいです。

〈清水 初菜〉

娯楽としての側面が大きな「ゲーム」というコンテンツから地域創生へ取り組んだことは、挑戦でした。日本全国が同じ土俵に立つ地域活性化においては、先駆けとなる取り組みが求められます。

ゲームを通した「体験」はまだまだポテンシャルを秘めています。一見娯楽である分野から社会へ働きかけるといふ物事への捉え方を今後も持ち続け、絶えず挑戦していきたいです。

〈舘野 朋恵〉

アクションRPGゲーム風PR動画という今までにない斬新なアイデアで、栃木県ならではの特産品や観光名所、ゆるキャラを活用したこの施策は「ゲーム」×「地域創生」という新たな可能性を生み出したと確信しています。

時に壁にぶつかることもありましたが、諦めずに挑戦し続けたことで多角的な視野を持つことができ、自身の成長にも大きく繋がったと感じています。

また、この経験を通じて、チームで課題を解決する力、企画を実現させるための行動力、そして柔軟な発想力を養うことができました。「新しい切り口で地域の魅力を伝える」という挑戦が、得られた結果からも自信につながりました。

今回の学びや経験を活かし、今後も成長し続けられるよう努めていきたいです。

〈吉田 大和〉

約1年間にわたるグループ活動では、役割分担やスケジューリングを意識し、効率的な進行方法を模索しながら実践的なスキルを磨くことが出来ました。しかし、「ゲーム」「ゆるキャラ」「PR」といった3要素を組み合わせ、施策として落とし込むのには困難を極めました。そのため、意見や考えが違う時もありましたが、幾度となくミーティングを行い解決してきました。

また、ヒアリング活動を通じて、ビジネスマナーや柔軟な対応力を学ぶとともに、多角的な視点からのご意見をいただく機会にも恵まれました。

これらの経験は、私にとって非常に意義深く、人として成長する大きなきっかけと感じております。